資料４

# ＜令和８年度＞
# 熊本都市圏総合交通戦略協議会（第５回）

（参考資料）第５回協議会におけるご意見及び対応

令和８年８月２１日（金）

# 令和８年度 第５回協議会における意見及び対応

| ご意見【令和８年度第５回協議会】 | 対応案 |
| --- | --- |
| ・令和８年熊本地震の発災に際して、益城町の県道熊本高森線４車線化等で防災機能の向上に資する道路を整備できていたことは特筆すべき。<br>・令和８年熊本地震の発災時に、公共交通事業者によって策定が進められていたBCPが効果を発揮できたのか、確認が望まれる。<br>・施策の完了率が100%を上回る項目も見受けられるが、成果指標の達成率（特に交通渋滞）が低い点については、次期戦略策定に向けて重要な課題と認識すべき。<br>・進捗状況では、実施主体が熊本市の施策に「未着手」が多いように思われ、今後に期待したい。 | ご意見を踏まえ、防災機能の向上に資する交通施策の効果や、災害時における公共交通の運行継続に関する取組について整理し、次期総合交通戦略の策定に向け検討して参ります。 |
| ・報告内容が全体的に施策の進捗状況(Output)を示しており、施策の成果(Outcome)に関する指標の評価(P.25以降)についての目標未達成要因と対応方策について、より詳細に分析する必要があると思われる。<br>・施策数が243というのは多すぎるため施策を絞り込むとともに重要度や優先順位を設定する必要があるのではないかと思われる。<br>・完了した施策は対象から除外していくことも検討すべきではないかと思われる。<br>・新たな総合交通戦略（アクションプラン）の策定に際しては、以上の事柄を踏まえていただきたい。 | ご意見を踏まえ、成果指標と施策の関係性の整理や施策の重点化・優先順位付けについて、次期総合交通戦略の策定に向け検討して参ります。 |